

## 18. 献血

少子高齢化の進行に伴う献血可能人口の減少や若年層の献血離れ等の影響もあり、献血者数は全国的に減少傾向にある。

また、輸血用血液製剤については国内の献血により供給されているが、アルブミン製剤など血漿分画製剤の原料においては、いまだに多くを外国からの輸入に依存している状況である。

これらのことから、血液製剤の安全性の向上、献血による国内自給の原則、適正使用の推進、血液事業運営に係る公正の確保と透明性の向上を基本理念とした「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」が平成 15 年 7 月に施行された。

この法律に基づき、高知県赤十字血液センター、市町村、民間ボランティア等と連携し、若年層をはじめとする県民各層への献血の普及・啓発活動を行うとともに、地域での献血組織の育成強化を図る。

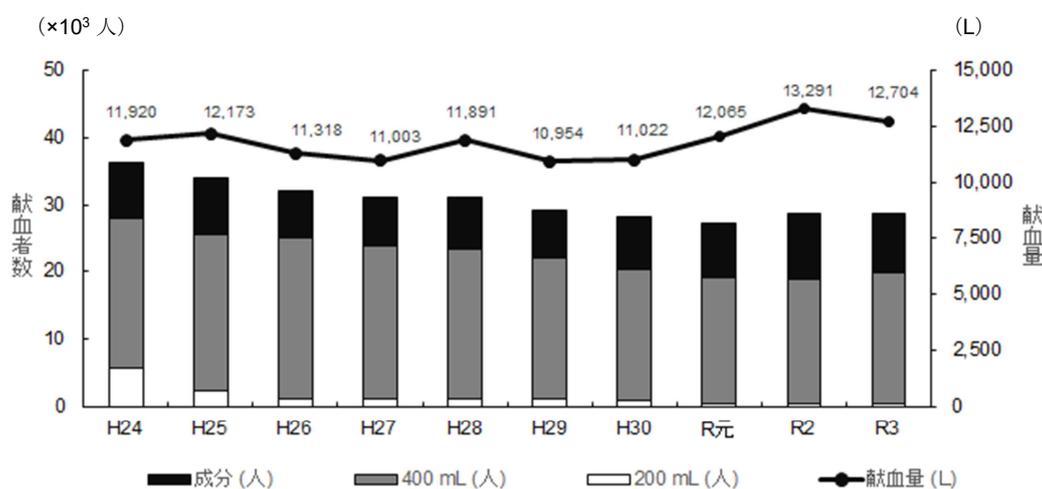
### (1) 献血者数

令和 3 年度の献血者数は 28,624 人であり前年度より 2.7%減、献血量は 12,704 リットルであり 4.4%減であった。

なお、過去 10 年間の献血者数及び献血量は下記のとおりである。

#### ○年度別献血状況

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	前年比	構成比	R3年度 目標値
200 mL (人)	2,428	1,082	1,026	1,069	1,146	991	458	404	493	421	85.4%	1.5%	360
400 mL (人)	23,046	23,952	22,869	22,308	20,904	19,394	18,632	18,542	19,227	19,155	99.6%	66.9%	18,711
成分 (人)	8,371	8,558	7,088	7,278	7,657	7,137	7,842	8,203	9,707	9,048	93.2%	31.6%	9,792
計 (人)	33,845	33,992	30,983	30,655	29,707	27,522	26,932	27,149	29,427	28,624	97.3%		28,863
献血量 (L)	11,920	12,173	11,318	11,003	11,891	10,954	11,022	12,065	13,291	12,704	95.6%		12,907



## (2) 献血適格率等の状況

令和3年度の献血申込者のうち献血ができなかった人数は、2,078人で、申込者のうち6.8%を占めた。

その理由として血液比重の不足により献血ができなかった申込者の男女比は、男性0.8%に対して女性8.1%となっているが、これは男女による赤血球数の違いの影響が大きい。

### 令和3年度の献血申込者数と献血ができなかった人数

	申込者数	献血ができなかった者						献血者数		
		比重不足		その他		計		人数	構成比(%)	
		人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)			
男 (人)	200mL	23	0	0.0	2	8.7	2	8.7	21	91.3
	400mL	13,874	109	0.8	480	3.5	589	4.2	13,285	95.8
	血漿	4,120	23	0.6	58	1.4	81	2.0	4,039	98.0
	血小板	2,259	25	1.1	74	3.3	99	4.4	2,160	95.6
	計	20,276	157	0.8	614	3.0	771	3.8	19,505	96.2
女 (人)	200mL	476	35	7.4	41	8.6	76	16.0	400	84.0
	400mL	6,808	631	9.3	307	4.5	938	13.8	5,870	86.2
	血漿	2,933	175	6.0	108	3.7	283	9.6	2,650	90.4
	血小板	209	5	2.4	5	2.4	10	4.8	199	95.2
	計	10,426	846	8.1	461	4.4	1,307	12.5	9,119	87.5
合計 (人)	200mL	499	35	7.0	43	8.6	78	15.6	421	84.4
	400mL	20,682	740	3.6	787	3.8	1,527	7.4	19,155	92.6
	血漿	7,053	198	2.8	166	2.4	364	5.2	6,689	94.8
	血小板	2,468	30	1.2	79	3.2	109	4.4	2,359	95.6
	計	30,702	1,003	3.3	1,075	3.5	2,078	6.8	28,624	93.2

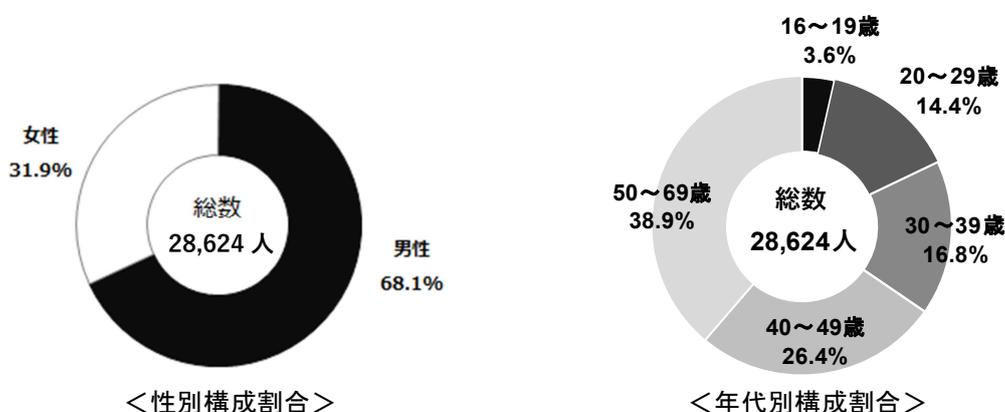
### (3)性別・年代別からみた献血者の状況

献血者の性別の構成割合は、男性 68.1%、女性 31.9%となっている。また、年代別で見ると、50～69 歳代の献血者の割合が 38.9%を占めている。

#### ○令和3年度 性別・年代別献血者数

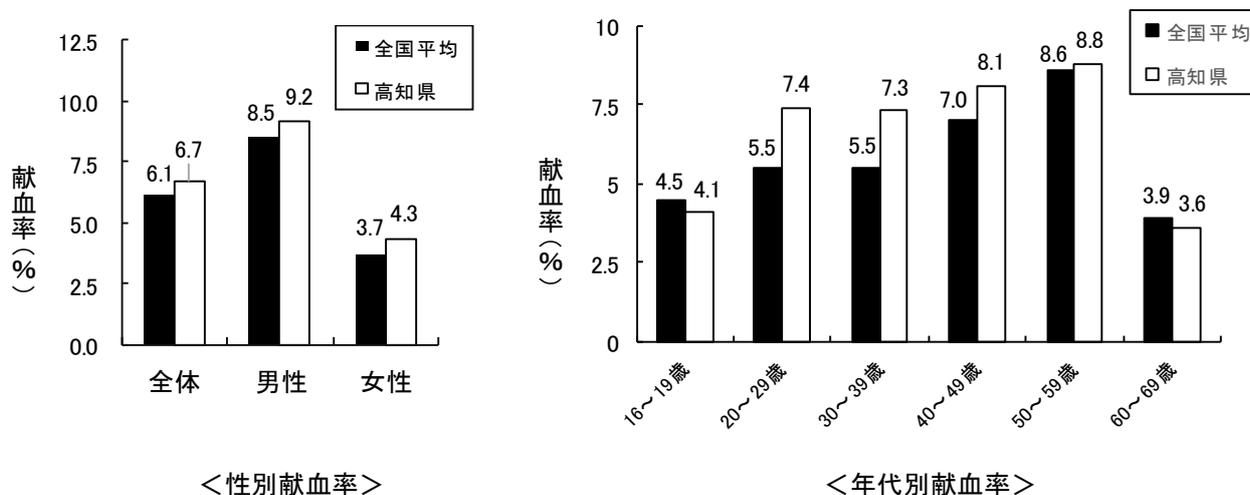
	16～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～69歳		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
200 mL	16	150	2	94	1	38	1	54	1	64	21	400	421
400 mL	502	234	1,955	1,028	2,239	987	3,464	1,460	5,125	2,161	13,285	5,870	19,155
血漿	49	40	369	456	557	629	1,084	638	1,980	887	4,039	2,650	6,689
血小板	26	1	185	29	307	55	757	85	885	29	2,160	199	2,359
合計	593	425	2,511	1,607	3,104	1,709	5,306	2,237	7,991	3,141	19,505	9,119	28,624

#### ○令和3年度 性別、年代別献血者構成割合



#### ○令和3年度 性別、年代別献血率

令和3年度における高知県の献血率を全国平均と比較すると、高知県の献血率は男女ともに全国平均を上回っており、また、年代別で見ると10歳代及び60歳代を除く年代において、全国平均を上回っている。



(注1) 令和3年度(令和3年4月から令和4年3月)の献血者による献血率は、日本赤十字社血液事業「令和3年度血液事業年度報(令和3年4月～令和4年3月累計)」掲載データを利用

#### (4) 血液製剤供給量の推移

令和3年度は成分製剤で31,041本、また200 mL換算で108,627本供給しており、昨年度より供給本数が増加した。

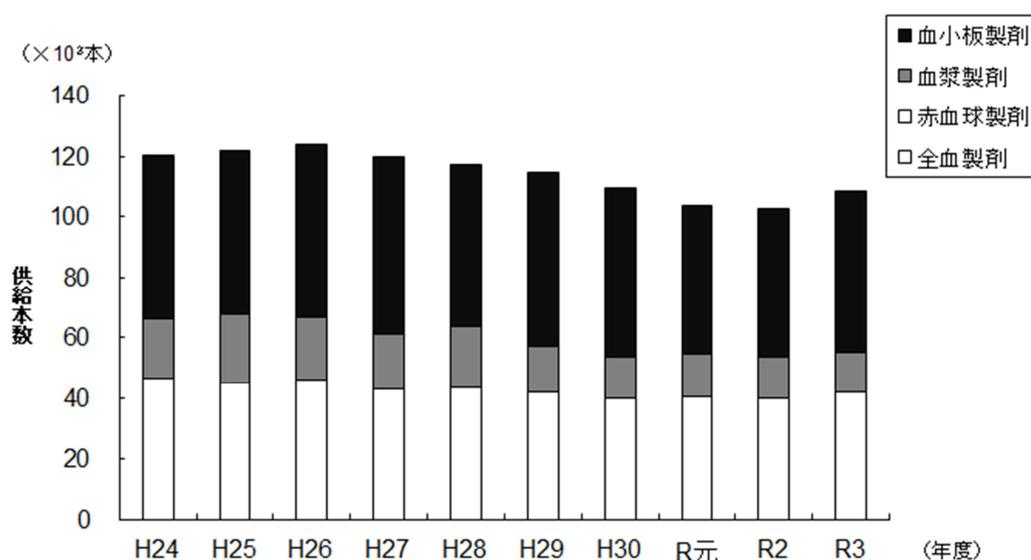
#### ○県内における血液製剤の供給状況

(上段:200 mL換算本数、下段:実本数)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
全血製剤	4 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
赤血球製剤	46,454 (24,428)	45,093 (23,199)	46,079 (23,578)	42,984 (21,944)	43,406 (21,997)	42,123 (21,387)	39,894 (20,214)	40,320 (20,418)	40,182 (20,270)	41,910 (21,085)
血漿製剤	19,554 (5,348)	22,649 (6,250)	20,805 (5,743)	18,320 (4,976)	20,254 (5,303)	15,269 (5,330)	13,940 (4,893)	14,321 (5,016)	13,308 (4,702)	13,017 (4,586)
血小板製剤	54,595 (5,501)	54,085 (5,410)	57,185 (5,718)	58,560 (5,856)	53,561 (5,358)	57,460 (5,746)	56,026 (5,634)	49,200 (4,920)	49,470 (4,947)	53,700 (5,370)
合計	120,607 (35,279)	121,827 (34,859)	124,069 (35,039)	119,864 (32,776)	117,221 (32,658)	114,852 (32,463)	109,860 (30,741)	103,841 (30,354)	102,960 (29,919)	108,627 (31,041)

(注1)換算本数は、400mL由来製剤=×2、2単位=×2、5単位=×5、10単位=×10、15単位=×15、20単位=×20により算出

(注2)令和3年度データは、日本赤十字社ホームページに公表の「全国血液センター供給本数速報(Ⅱ)令和3年4月～令和4年3月分累計」より算出



200 mL 換算供給本数の経年推移